

1997.11.7 No.67

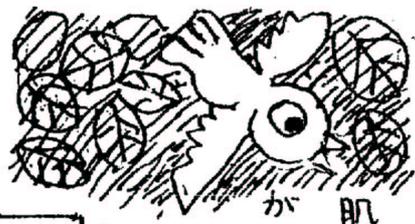
絆

Bangladesh と 手をつなぐ会

「Bangladeshと手をつなぐ会」は、Bangladeshのカラムディ村で、現地の村人による委員会(シヨンダニ・シヨンスタ)と協力して次の活動を行なっています。

教育分野 小学校建設、奨学金制度、職業訓練(タイプ、ミシン)、夜間学級、識字学級など

医療分野 母子保健センターの建設と運営、定期的な現地での診療活動、健康および環境調査、医療従事者の研修と村人の衛生教育など



11月24日 秋のバザーです くわしくは7ページに
いします。
(大木松子)

女医さんがほしい!

今年度の夏の訪問のとき、まよなかまで日本側と話し、そのあと一睡もしないで



シヨンダニが考えた四つの「どうしても要る」の第一位が女医さん。イスラム教で男性に肌を見せられない母と子のいのちがかかっているからです。村に来てくれる人がいるのか、ずっと続く給料、他のお金は？など、簡単ではありません。でも何とかして母と子のいのちを守りたいと思っています。ご協力をおねがいします。

シヤハさん、ベラさんと「ドンノバット」^{ありがとう}と帰国

10月11日来日、28日の帰国までカラムディ中学の先生シヤハさんと母子保健センター看護婦のベラさんはたくさんのお学校と病院で研修と交流ができました。

勉強になった上にたくさん日本人と友だちになれた。ほんとうにありがとう。二人は何回も「ドンノバット」(ありがとう)をくりかえしました。協力して下さいました学校と病院のみなさん、ありがとうございました。

招へい事業を終えて



今年もバングラデシュから、中学校で物理を教えているシャハ先生と、母子保健センターのベラ看護婦のお二人をお招きして、日本の教育や医療の現場での研修や交流を行いました。二人とも特に体調を崩されることもなく、10/12~28 の二週間余りの日本滞在を終え、無事帰国されました。今年の招聘事業を振り返ってみましょう。

シャハさん編

「とにかくよく質問されていたのがとても印象的だった」と大木さん。彼はどこに行っても必ずノートを広げ、話を聞きながらメモを取り、さまざまな質問をし、時間に余裕があればバングラデシュの状況を話し、相手の質問に答えるなど、本当に熱心な姿勢を最初から最後まで通しました。一貫山小学校では、児童たちと一緒に給食を取るなど子供たちとの交流もでき、とても楽しそうでした。福岡女学院や付属中学校では、理科の実験室を訪れ、実験の器具などを興味深そうに見ていたそうです。シャハさんは、バングラデシュでも身近にあるものを利用して実験の授業をしてみたいと語っていました。しかし、所によっては授業も教室の外から見るだけだったり満足いかないところもありました。長崎旅行では小学校のときなどに勉強した原爆の恐ろしさを実際に目の当たりにして、その痛まじさに胸を痛めたそうです。シャハさんは、日本での食事にもチャレンジ精神を旺盛に発揮していたようです。例えば、西南学院大学では、マーボー豆腐を食べることになりました。シャハさんは、「味がないと」あまり食指が動かなかったようです。しかし、中華料理のめん類は大丈夫そうでした。さらに、刺し身も食べれないこともなかつたようです。

ベラさん編

「結婚して大人の女性のいい雰囲気が出てきた」（ベラさんは最近結婚されました。）と大木さんは送迎会の時話していましたが、結婚前の明るさと好奇心は相変わらず。母子保健センターでは、出産とともに乳幼児の管理が大切です。まず保健所では離乳食や赤ちゃんのお風呂の入れ方などの講習を受け、大変興味深そうで

ご協力ありがとうございました（順不同）
西南学院大学児童教育科 洲上教授とゼミの皆様
西南幼稚園 戸川先生
福岡教育大学付属中学校 植松先生
香住ヶ丘高校 平山校長先生
福岡女学院中学校・高校 高橋校長先生
一貫山小学校 木下先生
ソロブチミスト福岡東支部の皆様
筆の家作業所の皆様
九州大学院法学研究科 吉積さん
公文南庄教室
三角先生、勝浦先生
久留米大学付設高校 末永先生

した。「この国で学んだことを、カラムディ村に伝えたい。」と語っていました。他にも、産婦人科での研修、一般病院での看護システムの研修、訪問看護の実習など盛りだくさんの内容を元気にこなしました。また、長崎旅行では、山道が大変珍しいと言いながらずっと歌っていました。しかし、やはり新婚さんらしく、夫のためにおみやげを探したり、手紙を出したりもしていました。食事については、苦勞もありました。台さんと一緒に食事したときは、インド料理のお店だったのですが、逆に辛過ぎてあまり食べられませんでした。また、刺し身には手を出さなかったようです。日本語も少し覚えたベラさんは、今度村に来た日本人のために刺し身をつくってくれることだと思います。(笑)

☆来年度への提言

この招聘事業の目的は、①日本の教育や医療の現場での研修②会員との交流③夏の訪問時に受けた要望への回答です。①に関しては、体系的な方針が立っておらず、単なる現場訪問になっているのではないかという一方、3年目ということで受け入れてくれるところがだいぶ明らかになってきたので、これを基礎に研修の目的や計画を立てていこうという意見もありました。②に関しては、「研修に時間をとられて機会が少なかった」や、「結局現地に行ったことのある人がほとんどで、行ったことの無い人の参加があまり見られなかった」という意見がだされました。③に関しては、あいまいな回答しかできませんでした。原因として、例えば女医を雇うなどは、今年度の予算に収まる問題ではなく継続的に可能かどうか、十分に検討する必要があるためなどが挙げられます。

さて、招聘事業全体を通しての問題点を挙げると、a)費用がかかり過ぎる、b)同行する人の確保、c)連絡調整の不備などがあります。やはり私たちはふだん仕事をもっている人がほとんどなのでなかなか難しいと思いますが、午前中や夕方だけ可能な人にも参加してもらえようシステム作りをしなくてはいけないと思います。また、c)に関しては、今年は連絡所を決めていたのですが、結局あまり活用されることがありませんでした。連絡方法と目的、時間などは詳細に決定し、その徹底を図ることが必要でしょう。更にこれらの問題を解決するためには、事務局の機能を高めたり、専従スタッフを置くという案が考えられます。

招聘事業に関して何かございましたら、お気軽に事務所に手紙やFAXして下さい。お待ちしております。

(衛藤 達生)

ご協力ありがとうございました

千鳥橋病院訪問看護部 中央保健所 八木病院 古野産婦人科クリニック
丸木陽子ウィメンズクリニック にのさかクリニック

報告会が行われました

★10月19日、早良市民センターにて、1997現地訪問の報告会が行われました。バングラデシュからの留学生も含め、65人の参加の中で、訪問団11人（井手医師、撮影の桑野氏は仕事の為欠席）から現地の様子が伝えられました。

★教育班からは、バングラデシュの教育システムから村の子供達の様子、今年初めて長期欠席者の家庭訪問をしたことなどが報告されました。招聘事業で来られている、カラムディ中学校・理科教諭のシャハさんから、新学年の初めは約6割りの子供達が教科書を買えないため用意できないことが報告されました。これでは、予習・復習は勿論、授業についていけません。この教科書問題も長期欠席者となる原因のひとつです。教科書の図書館を造り、貸し出してほしいという要望が出されました。

★医療班からは、母子保健センターの歩みから現状、そして水質調査の結果が報告されました。母子保健センター看護婦ベラさんからは母子保健センターでの出産が増えているという喜ばしい報告と共に、女医がいないために出産時のトラブルに対応できないという事が報告されました。宗教的なことから、女性は夫以外の男性に肌を見せません。ノルジャマン医師は村の保健衛生の向上に力を尽くされていますが、宗教という壁の元では、どうすることもできません。そのため女医が欲しいという要望が出されました。

★今年は、女性の自立のためにという試みのため、手芸の道具を持参しました。ミシン教室でではぎれを利用し、『パッチワークで鍋つかみを』、というアイデアからなのですが、日本から持参した20セットの鍋つかみの材料を置いてきましたので、12月のスタディツアーに参加する方が、持ち帰って下さるのを待ちたいと思います。

★昨年好評だったサリーの着付けを今年も行いました。カラフルなサリーをまとった参加者がボラロイドカメラに『はい、ポーズ』。そして、ラフマンさんの奥様の協力で、バングラデシュ料理『シンガラ』が用意されました。美味でした。

★『初めての方にも分かりやすく』という事を念頭において行いましたので、長く応援して下さっている方には物足りなかったかと思います。この場をかりてお詫び申し上げます。この日、都合で参加できなかった方や、もっと詳しく知りたい方のために、『出張報告会』を行います。どうぞお申し出下さい。この報告会で出された要望や問題点を皆で考えて行きたいと思います。どうぞご意見をお寄せください。また気軽に、運営委員会や、10年委員会に参加してください。皆で、バングラデシュと手をつないでいきましょう。

(森 昌子)

福岡女学院で報告会



10月7日の朝の礼拝で矢野陽子さんはバングラデシユの村のようす、子どもたちのことを話しました。みんな熱心にきいて下さって、一人の生徒さんは「シューズ買うのやめようかしら」と言われたそうです。

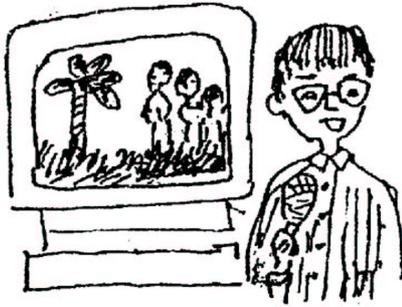
9月13日は講堂で何人かのお友だちとつたダンスの発表。バングラの少女用民俗衣裳を着て「ダイヤモンド」「リーブミーアロン」とうたいました。拍手かっさい大好評だったようです。

オー高校で

9月29日午後

オー高校でバングラデシユ報告会をしました。

まず衛藤くんが現地で撮影帰国後つくったビデオを(子しながら話し、わたしが去年までのことなども加えて話しました。質問も出て高校生らしいふんいき、続けてもうひとクラス、楽しい午後でした。



教科書が買えない! カラムティ村の中学生

現地訪問のとき、村の高校生や青年たちが教科書の買えない生徒のために図書館をつくって卒業生が使ったのを管理

こうという話が出ました。研修に来たシャハさんにきくと、ひとり分日本円

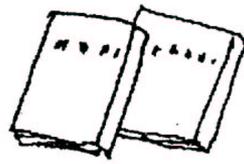
になおすと四千円。

卒業生もお金を少し払ってほしい

のです。教科書がなくて勉強ができません……

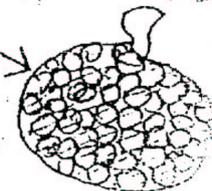
何とかみんなが教科書を持てるようにしたいと思ひます。

いっしょに考えましょー



附中3年生

10.150円 募金 ありがとう



硬貨がザクザク

福教大附属中学

3年生はアジアの国々

について学ぼうとグル

ープでとりくみました。「手を

つなぐ会」とたすねた3人が

中心になって募金を集めて

下さいました。パラ中で女子

生徒たちが「女子の部屋は雨と

風でおいといた学用品などが

めれたり濡んで行ったりする」

と話していたので、そのために使

いたいと思ひています。これが

本当の交流になるでしょう。

(大木松子)

NGO（民間の海外協力団体）は、その対象国、活動分野、方法、規模などさまざまです。福岡地区でも多くのNGOが活動しています。このページは、手をつなぐ会以外のNGOの活動を紹介します。多くのNGOやその人々と知り合って、学び合う機会をもちましょう。

11月のNGO福岡ネットワーク定例会

&国連ハビタット福岡事務所との懇談会のお知らせ

NGO福岡ネットワークでは、福岡地区のNGOが集まって、お互いに学びあい、悩みを相談しあい、よりよいNGO活動を目指しています。バングラデシュと手をつなぐ会の会員の皆様もどうぞご参加ください。

今回は都合により会場が変更になっています。ご注意ください。

とき 1997年11月15日（土）

午後2時～3時 NGO福岡ネットワーク定例会

午後3時～5時 ハビタット事務所との懇談会

（ハビタット福岡 NGO フォーラムとの共催）

ところ 福岡市役所 議員棟7F 無所属派議員控え室

NGO列島縦断フォーラムのお知らせ

とき 1998年1月25日（日） 午前9時半～午後5時

ところ アクロス福岡 国際会議場他

テーマ 国境を越える農村と都市のネットワーク～世界を考え、地域で行動

入場無料

NGO福岡ネットワークでは、農林省と国際農林業協力協会（AICAF）の協力を受けて、来年1月にNGO列島縦断フォーラムを開催します。海外や、日本の各地から幅広いゲストをお招きして、ともに学び合いたいと思います。NGO活動を広く市民の皆さんに知っていただき、職域や年齢、性別を越えた幅広い社会的基盤を作っていくきっかけにしたいと思っています。手をつなぐ会の皆さんも、どうぞご参加ください。

よかよか国際市民フェスティバル

福岡市の国際交流協会と県の国際交流センターの主催で、市民の皆さんとNGOが一緒に楽しむフェスティバルが開催されます。バングラデシュと手をつなぐ会も展示に参加します。ご家族そろってご参加下さい。

とき 12月6日（土）～7日（日）

ところ アクロス福岡6階

バザーのお知らせ

とき - 11月24日(月・休日)

13:00~16:00

ところ - 西新商店街

11時より準備します!!
集まって手伝ってください。

値段付け

11月15日(土) & 22日(土)
いずれも午後2時から始めます
到来品や自分には必要でないけれど、
まだ使えそうな品物を御提供下さい。
また、値段付け、当日の販売や購入にも御協力下さい。



御協力ありがとうございます

旅費カンパ 116名 851,580円 集まりました
(11月23日現在)

募金報告 (個人以外の方)

-敬称略-

二ノ坂クリニック 20,825円
福祉ジャーナル 20,000円
福岡雙葉高校 5,000円
現地スタッフ報告会
募金箱10月19日分 2,144円

新入会員紹介

桑野 康一、村上 百合子、吉田 博己
田中 典子、折笠 由美子、立木 寛子
河野 ひとみ、三島 真美



【払い込みの時の御注意】

- ◎お名前を忘れずにお書き下さい。
- ◎領収書が必要な方はその旨ご記入下さい。

会計: 友納 つる子
野 田 幸子

お知らせとお願いコーナー

11月～1月の行事予定

(未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
11月6日(木)	13時～	ミロン発送作業	西新事務所
7日(金)	13時～	〃	〃
13日(木)	19時～	運営委員会	〃
15日(土)	14時～	バザー用品値段付け	〃
〃	14時～	NGO福岡ネットワーク定例会	市役所7階
20日(木)	19時～	10年委員会	西新事務所
22日(土)	14時～	バザー用品値段付け	〃
24日(月)	13時～	チャリティバザー	西新商店街
12月4日(木)	19時～	10年委員会	西新事務所
11日(木)	19時～	運営委員会	〃
21日～28日		バングラデシュ スタディツアー	バングラデシュ カラムディ村
1月22日(木)	13時～夕方	ミロン発送作業	西新事務所
〃	19時～	運営委員会	〃
23日(金)	13時～	ミロン発送作業	〃

★テレホンカードありがとうございます★

福岡城南病院、長尾病院、にのさかクリニックの患者さん、職員の皆さん、また個人で協力してくださった方々、ありがとうございます。たくさんの方のテレホンカードが集まりました。近く換金して、活動資金にする予定です。

★現地訪問報告書『今、大地をふみしめて』が完成しました★

今年、小学生、高校生、大学生、医師など初参加の人たちの、それぞれの世代と立場による新鮮な現地報告と、ベテランの訪問メンバーのさらに深まった視点での報告が読みどころです。学校や仕事の合間に、みなで一生懸命に作り上げました。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。

バングラデシュと手をつなく会

〒814 福岡市早良区西新5-4-20

TEL&FAX092-822-5795

代 表 大木松子

郵便振込 01720-2-10442

加入者名 バングラデシュと手をつなく会